

いなむら市長の

「ひと咲き まち咲き あまがさき」

6月26日(火) 放送分

放送時間 8:00～、12:45～、16:00～

再放送 6/28(木) 8:00～、12:45～、16:00～

6/30(土)、7/1(日) 17:00～

テーマ 「私たちの学校生活の様子」  
(琴ノ浦高等学校放送部)

<市長> 皆さん、こんにちは。尼崎市長の稲村です。今回も、元気いっぱい、市内の高校生の皆さんによる番組をお楽しみいただきましょう。それではさっそくスタートです。どうぞ！

<野間> こんにちは尼崎市立琴ノ浦高等学校の放送部、

<福岡> 福岡彩菜と、

<野間> 野間愛実です。今日は私たちの学校生活の様子を中心に話しさせていただきます。よろしくお願ひします。私たちの通う琴ノ浦高等学校は、城内高校と尼崎工業高校が統合され、6年前に開校した定時制高等学校です。定時制とは夕方から夜間にかけて授業がある学校で、尼崎市には「阪神昆陽」「神崎工業」「琴ノ浦」の3校があります。立地は阪神尼崎の駅から徒歩5分以内であって、交通の便がよく、神戸や大阪から通学する生徒もいます。生徒規模も350人を超え、県内でも規模の大きな定時制高校です。また、琴ノ浦高校は県内で唯一、4つの系列を持つ高校です。本校の前身であった城内高校と尼崎工業高校のカリキュラムを受け継ぎ、普通科高校でありながら「普通系列」「商業系列」「工業機械系列」「工業電気系列」があって、各系列の専門的な内容を受けることができます。また各種国家資格などにもチャレンジできる高校です。

<福岡> 学校の紹介はこれぐらいにして、私たちの学校生活を紹介します。私、福岡彩菜は商業系列の3年生です。私たちの学校は「定時制」と呼ばれる学校で、夕方から授業が始

まります。アルバイトを終えて登校し、仲間たちと会うのが楽しみな毎日です。ですが、どうしても体調が優れない日もあります。アルバイトで気分が落ち込むこともあります。学校に足が向きにくいと感じつつも、がんばって出来るだけ登校するようにしています。学校でみんなの顔を見て、バカな話で盛り上がると、いやなことも、多少の体調不良も全て忘れることができます。いつの間にかリフレッシュして、元気な自分に戻るように思います。そう、学校は私の居場所であり、カンフル剤なのかもしれません。学校を見渡すと中学校を卒業して間もない15歳から、お父さん、お母さんより年上?と思う人まで、幅広い人が勉強しています。仕事に家事に時間がない中で毎日登校し、何かを惜しむように勉強している姿には頭が下がるような思いです。私たちも負けられないように勉強しなくてはいけないと思う毎日です。

<野間> 続いて普通系列の3年生、野間愛実です。私の夢は作業療法士になることです。作業療法士は「心と体のリハビリ」をサポートする仕事です。具体的には日常生活をスムーズにするための支援、生きがいの支援を行います。これから迎えると言われる「高齢化社会」で必要とされる大事な仕事だと思っています。作業療法士には国家資格が必要になります。資格を取るには大学か専門学校に行かないとだめです。専門学校でも4年間で600万円程度の学費が必要みたいです。とても大きな金額で現実味がないのが本音ですが、諦めたくないと思っています。夢のためにアルバイトもがんばって、お金を貯めて家族に負担をかけないようにしたいです。学校生活は楽しいです。毎日の授業や友達とのおしゃべり、放課後の部活動も全てが充実しているように感じます。今までにはなかった感覚だと感じています。これも将来の目標が定まったから、そう感じるのかもしれませんが。私はこれまで人に頼ることが多かったけど、できる限りは自分の力で進んでいきます。今、残された学校生活は少ししかありませんが、絶対に悔いを残さないようにがんばっていきます。

<野間> ここで私たちの大好きな曲、back numberの「わたがし」を聞いてください。この曲は私たちの気持ちを代弁してるようで大好きな曲です。

<福岡> ここで私たちの仲間、3年生の丸井美咲さんに話を聞いてみます。丸井さん、あなたが琴ノ浦高校を選んだ理由を聞かせてください。

<丸井> はい、これといった理由はありませんでした。中学校の先生が琴ノ浦にするよって言ったので、迷うことなく琴ノ浦になった...みたいな感じです。今は3年生になって、琴ノ浦の生徒で良かったって思っています。

<福岡> 今、一番の楽しみは何ですか？

<丸井> なんとと言っても友達に会えることが一番です。私の気持ちや相談事も聞いてくれるし、アドバイスをもらったりもします。また反対に相談を受けたりもします。なんでも話し合える友達が、一番の宝物です。

<福岡> 3年生ともなるともうすぐ進路を決めないといけないですけど、もう決めてますか？

<丸井> まだはっきりとはしていません。先輩から、3年生の夏休みは「全部ステップアップやで！」って聞いてます。ここでしっかりと自分の進路を考えたいと思っています。

<福岡> ステップアップ、大変みたいやけど…。

<丸井> みたいですね。お辞儀の仕方から一般常識までみっちり一カ月間、特訓されるみたいですね。今からちょっと怖い感じもしてます。でも、自分のためやから、なんとしてもがんばりたいです。

<野間> 続いて3年生の金崎美佳さんに伺います。金崎さんは琴ノ浦高校をどう思っていますか。

<金崎> 琴ノ浦高校は私的にはアットホームで先生も優しく接してくれて、とってもいい学校だと思っています。ただ、体育館が狭くて部活はしにくいです。バドミントンをはじめ、全国大会にも出場する部活が多いのですが、体育館は狭くて練習時間が取れないことが困っていることです。

<野間> 教室での様子を教えてください。

<金崎> はい、私は普通系列なので、商業や工業の授業は取っていませんが、国語や数学をはじめ、社会、理科、英語など普通教科を学んでいます。勉強はあまり得意ではありませんが、先生たちが出来るだけ分かりやすく教えようとしてくれていることは伝わってきます。

<野間> 定時制高校の生活についてお話をしていただけませんか？

<金崎> はい、もう2年と少し経つのですっかり慣れてしまいました。1年生のはじめの頃は夕方から学校に行くことが不思議な感覚でした。これまでの生活のリズムが大きく変わるので疲れもあったと思います。8時9時のテレビが見れないのも少し寂しかったことが思い出されます。でもすぐにそんなことは忘れます。友達ができて、毎日が楽しくて…で、あっという間に3年生です。

<野間> 卒業後は進学や就職で離れてしまうけど、いつまでも友達でいてくれますか？

<金崎> もちろん。一緒に学んだ仲間はこれからも大切な友達です。同窓会もしてみたいし、なにより住んでいる場所も遠くはないので、何かあったらすぐに行くし…。

<野間> ありがとう。うれしい。涙が出るけど時間もなくなってきたし…。

<福岡> 最後に私たちの「琴ノ浦高等学校」のすぐ隣に「尼崎城」ができます。はじめの頃は何ができるのか関心もなく、工事が始まったなあ、くらいに思っていたんですが、少しすると周りの壁にお城のイラストが描かれているのに気付きました。お城？とは思いましたが、まさか学校の隣にお城ができるとは想像もできなかったのが、ちょっとビックリしたことを覚えています。昔の尼崎城は立派なお城だったとなにかで読みました。水上の琴浦城（ことうらじょう）と呼ばれていたそうです。琴浦城の築城400年記念として145年ぶりに復元されると聞きました。私たちの学校の名前は「琴ノ浦高校」、住所は尼崎市「北城内」、すぐ横の公園は「三の丸公園」といいます。実は尼崎城に縁の深い学校なのかなと思います。この尼崎城の工事もだいぶ進み、お城の全体像が見えるま

でになってきています。今年の秋には完成されるということで、とても楽しみにしています。皆さんもぜひ、尼崎城を見に来てください。

<福岡> 今日は私たち琴ノ浦高校のお話を聞いていただきありがとうございました。また機会があればお耳にかかりたいと思います。

<皆> ありがとうございました。

<市長> いかがでしたか？ それでは、次回の放送もお楽しみに！

以 上